

災害対応

ヘリサインの設置、ドローンの活用への考えは

中條 恵子 議員

答弁…ヘリサインの設置は、実際に可能かどうかを調べる必要があると思います。また、ドローンの活用は、災害等に役立てる方向で検討してまいりたいと考えております。

中條 ヘリサインは施設の屋上などに施設名、番号等を表示し、災害等の緊急時にヘリコプター等に人命救助や救済物資の運搬ができる場所を速やかに伝える目印となります。

また、ドローンは、災害対策や防災力の強化、野生鳥獣対策などの環境対策や農業対策、シティプロモーションにおける活用、観光や建設などの分野での活用が見込まれます。

災害に強いまちづくりを目指して、ヘリサインの設置とドローンの導入についての考えをお伺いします。

市長 災害に強いまちづくりのため、ヘリサインやドローンは新たなツ

観光資源

観光拠点としての三県境のさらなる進捗について

柿沼 秀雄 議員

答弁…三県境を新たな観光拠点として推進するため2市1町で連携し、来訪者を増やすことができるよう積極的に事業を進めてまいりたいと考えております。

柿沼 今、話題になっております三県境ですが、テレビ、新聞等で多数取り上げられ、全国各地から、最近では外国の方も三県境においでになるような話も聞いております。市にとって素晴らしい観光スポットになっていくという気がいたします。

三県境の今後について、いろいろな形で協議を重ねていることも聞いておりますが、その進捗状況についてお伺いします。

北川辺総合支所長 平成28年度におきましては関東どまんなか連携事業として、地方創生加速化交付金を活用し、パ

ンフレットの作成、三県境バーガーの試食販売、三県境モバイルスタンプラリーの実施、記念写真ボードの製作を行い

道路整備

南町1区から4区境界東西道路整備について

鈴木 久才 議員

答弁…安全性の向上及び道路線形の幅員差解消のため、この道路に接して建築行為が生じた場合には、5.5メートルの幅員に自主的な後退の協力を引き続きお願いしてまいります。

鈴木 対象の道路は、南町4町内の中央を貫く南町のメイン道路です。真つすぐな水路のある道路の南側に対し、北側は大きく刃こぼれしたのこぎり状態です。通学路、通勤路、さらには、高齢者が行き交う生活道路となっており、駅から徒歩4分のところから20分ぐらいに位置する道路で、道路環境は悪くなるばかりで改善される様子が全く見られません。危険極まりない場所ばかりの南町のメイン通りであります。なぜ、こんなことになってしまったのか、また、改善が可能なかをお伺いします。

建設部長 市道6038号線の道路線形に部分的な幅員差が生じている経緯については、当初、建築基準法第42条第2項に該当し、道路に接して建

築を行う際は、道路と水路の境界から北側へ4メートルの道路後退が必要となっております。その後、昭和61年度から63年度にかけて車両の通行が可能なたかの水路改修により、水路部分を含み幅員4メートル以上の道路となり、改修後は建築基準法上の道路後退が不要となったことから幅員差が生じております。過去においては、自主的な協力をお願いし、後退していただいた箇所もあります。安全性の向上及び道路線形の幅員差解消のため、この道路に接して建築行為が生じた場合には、道路幅員を5.5メートル確保できるように建築主の方に自主的な後退の協力を引き続きお願いしてまいります。